

<http://asiamoney.mag2.com/>

こちらにはV I S T Aで著名な門倉貴史さん
香港資産運用・ドバイ株で有名な石田さん、
同じタイ株でもテルサマさんなどなど参加されています。
けっこうつながりの深い方々が多く参加されているので
今後の展開が楽しみです。
さてそれでは第15号に入ります。どうぞ宜しくお願い致します。

今号でまぐまぐメールマガジン読者数1600人突破しました！！！！
登録していただいた方皆様に感謝でございます。

(こちらのメールマガジンは転送可となっています。
御友人や御知り合いでタイに関心ある方にはどんどんお伝え下さい。)

□□ No1 タイ株初心者編です ■■

前回に続いてタイの証券口座開設のお話をしようと思っております。

ユナイテッド証券では
口座開設までほとんど日本人担当者が対応可能です。
銀行口座開設まで親切に手伝って下さったとの読者の方からのお便りもありました。
訪問まですればほぼ開設できると思われまます。
<日本と同じ感覚でふらっと来られるよりも事前にアポイントを取ったほうが良いです。>
日本人スタッフの方は常時いますが、他のお客様の対応に出ている場合があります。

持参するのはパスポート。

<http://www.unitedsec.com/jp/>

ログイン後はすべての取引が日本語で可能ですので
ほとんど悩むことなく取引開始が可能でしょう。
売買手数料が一日最低200バーツ。
(少しややこしいですが1日に最低これだけ取られると考えて下さい。)
もしくは銘柄売買額の0.25%となっています。

続いてSEAMICO証券です。

http://www.seamico.com/eng/ProductServices/download_jap_language.asp

こちらでは書類をダウンロード。
その後郵送で口座開設が可能とのコトです。
売買手数料が売買額の0.15%となっています。

その他に

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120
Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

K I M E N G 証券 <http://www.kimeng.co.th/>

P H A T R A 証券 <http://www.phatrasecurities.com/en/>

こちらはわたくしのホームページ、または書籍での解説をしていく予定です。
いずれの4社ともにタイSET市場に上場している証券会社です。

コードは

ユナイテッド証券 (US)
SEAMICO証券 (ZMICO)
KIMENG証券 (KEST)
PHATRA証券 (PHATRA)
になります。

管理人のコメント：

3年前にはどこも日本語のサポートはなかったので便利になりましたね。
大きなタイ株の強みの一つに「直接インターネットトレードができる」と言う日本では
当たり前ですが、
ベトナム株やインド株ではまだできていない部分があります。

タイへ訪問してしまえば、銀行口座&証券口座開設もスムーズにできるので、
(少なくとも1ヶ月待たされるのはほとんどないです。)
タイの株価が上昇しないうちに投資するのが
良いのではと思います。虎の子のお金を入れるのではなく、少額からでも可能なので。

しかも日本へ帰ってからもインターネットで売買が可能なので、
仕事から帰って少しチェックしてトレードできる、
これは少しの先行投資と労力でいろいろな可能性が広がります。

タイ株の人気が出てから、株価が上がってから投資するのは、もったいないような・・・。
「日本人の大半は上がってから投資するんですよ。」
外国の証券マンやアナリストもよく言う言葉です。

ウォーレンバフェット氏の書籍で

「株式投資の極意とは良い銘柄を見つけて、良いタイミングで購入し、
それが良い会社である限り持ち続けること。」と言うのがありました。
まあこれが凡てではないのですが、ある意味購入タイミングは非常に大事だと思います。

□□ No 2 タイ株上級者編です ■■

過去のタイ株関連メルマガであまり触れられてなかったコーナーを作りました。

●● 015 KBANK です。○○
タイでの商業銀行大手No 4です。

タイでは13の商業銀行が上場しています。

資産規模で大きな順番で並べると

バンコク銀行 BBL

クルンタイ銀行 KTB

サイアムコマーシャル銀行 SCB

カシコーン銀行 KBANK

TMB銀行 TMB

アユタヤ銀行 BAY

この辺りまでが上位6行と呼ばれ、そこそこの大きな銀行です。

05年末時点では資産規模第3位でしたが

シン・コーポレーション(SHIN)株売却によって

SCB銀行が大量の資金を得たために4位に転落した経緯があります。

タイ国内商業銀行第4位のカシコーン銀行(KBANK)の2006年の

決算内容を発表しています。最終利益が05年比で2%減の139億バーツ。

融資額の成長と強い財務状態でカシコーン銀行は国際会計基準IAS39号の準備にそれほど影響を受けませんでした。

ただし第4四半期にシステム改善プロジェクトのK-トランスフォーメーションプロジェクト関連の出費が大きく上昇しました。

預金残高は8.8%増の7521億バーツと大きく伸びました。

もう一つ。タイの上場企業のインタビューを開始しました。

銀行・運輸・エネルギー・証券・金融・・・。

これけっこうたいへんなのです。

1. 日本では普通の日本人が大企業の経営陣にアポイント取るのは不可能に近いですがいろいろな方法を使ってアポイントを取っています。

2. その後、インタビュー前に情報を集めて勉強。

(そもそも質問力がないとインタビューなどできないからです。)

3. 聞いた情報をさらにまとめて英語に直して企業さんに確認してもらう。

(ここでも結構訂正されます)

4. 御礼のメールとともに後で再び挨拶へ。

いろいろな業界をインタビューしてその業界に詳しくなれるのは良いですが大変でした。しかしやり始めたからには続けます。

□□ No 3 タイ国内ニュース編です ■■

前回でも少しお話ししましたが
タイではインドシナ半島を縦断、横断する経済回廊が誕生しつつあり、
中国との関係、ベトナムとの関係もより密接になって行きそうです。
陸上輸送網の構築にはオランダ運輸大手の TNT、日本では日本通運が
08年度にもトラック輸送を開始するそうです。
ベトナムではヤマト運輸も進出してきているそうです。

このルートが完成すれば非常にモノの移動が早くなるためにバンコクーハノイで
いままで海上輸送10日かかっていたものが陸上に切り替わることで
最速3日で輸送可能になるそうです。壮大な計画です。

ベトナム視察旅行した際にも東西経済回廊の陸路でバンコクツアーがアレンジできるそうです。
流通関係の日系企業関係者も訪れているそうです。

□□ No 4 追伸です ■■

今回も長々と書いてしまいました。

さて再び数字が更新されましたので、またまたこれを最後までお読み頂いた方限定で
『タイ株のこれがわかりません！教えてください！』キャンペーンを行います。
最近また増えてきましたので返信が遅れる可能性も御了承ください。
(この質問コーナーも管理人が対応しきれなくなり、突如打ち切りになる可能性があるので
悩んで解決しておきたいものがあれば今のうちに。)

タイ株をまだ始めていない方でも タイ株を既に開始して取引している方でも構いません。
メールを頂いた方には必ず御返事致します。

一応プライバシーに触れない枠内で
次回のメールマガジン&ブログに掲載するかもしれないのを御了承頂ければ幸いです。
どしどし以下のアドレスまでメールしてください。
(とりあえず締め切りは6月7日までです！迷われてる方はいますぐ送って下さいね。)

abe@thaikabu.net ←こちらになります。
題名・件名は「タイ株質問メール」でお願い致します。

- 1 : お名前と
- 2 : タイ株を経験しているかしていないか
- 3 : 質問内容

